

算数オンライン塾 8月30日の問題 解説

(解説)

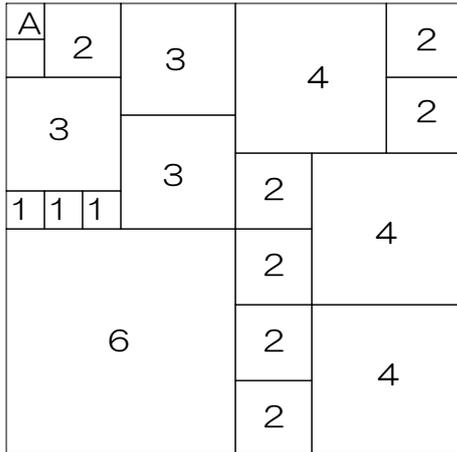
(1) Aの1辺の長さは1cmです。各正方形の1辺の長さは下図のようになります。

したがって横の1辺は $1+2+3+4+2=12\text{cm}$

たての1辺は $2+3+1+6=12\text{cm}$ と確認して、

面積は $12\times 12=144\text{cm}^2$ になります。

(答え) 144cm^2



(2) 一番小さな正方形の1辺を1とすると、下の図のようになり、Bは1辺の長さが2になります。この長方形はたてが $3\times 2+2\times 2=10$ 横が $3+2+4\times 2=13$ なので、一番小さな正方形の $10\times 13=130$ 個分の面積です。面積は 520cm^2 ですから一番小さな正方形は $520\div 130=4\text{cm}^2$ になるので、Bは $4\times 4=16\text{cm}^2$ になります。

(答え) 16cm^2

